

はばたけ

発行所
〒795-0013
愛媛県大洲市西大洲甲911番地1
社会福祉法人 大洲幸楽園
救護施設 大洲幸楽園
Tel 0893(24)3075 Fax 0893(24)3357
Eメール kyugoshietu@ozukohrakuen.or.jp
http://www.ozukohrakuen.or.jp/



大洲まつり

11月2日～3日の大洲祭りでは、恒例になっていきます、地区の獅子舞いがやって来ました。獅子は間近で舞うと大迫力で、皆お喜びでした。最後には獅子に頭を噛んでもらい、無病息災をお祈りしてもらいました。

「新年のごあいさつ」

理事長 尾崎公男

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当法人の事業推進に對しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私こと昨年6月の理事会において役員改選がなされ、不肖私が理事長に選任されました。もとより浅学非才の身から果たして任務を全うすることができず、杞憂しておりますが、その責任の重大さを認識し、微力ではございますが誠意努力を致す所存でございますので、何卒倍旧のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

当法人は「救護施設大洲幸楽園」と「大洲乳児保育所」の社会福祉事業を提供しておりますが、当法人を取り巻く環境は決して平坦ではありません。人材の確保・育成、継続的かつ安定的な事業運営などの課題を抱えておりますが、反面、小規模でのメリットとその特色を生かし、皆様方のお力添えをいただきながら、一步一步着実に前進できるよう取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご利用者様に満足いただける支援を目指し、利用者本位のきめ細やかなサービス提供に努めるとともに、地域の社会福祉の拠点として、引き続き地域の皆様に信頼される施設となるよう、役員員一丸となって取り組んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位、地域の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和6年1月

もちつき

12月26日には毎年恒例のおもちつきを行いました。幸楽園でも年々利用者・職員共に高齢化がすすんでいます、皆まだまだ若いものには負けぬと、文字通り昔取った杵柄を握っていました。



辞令交付式

12月末日付で、長年幸楽園で勤務して頂いた山下あや子さんが、退職することとなり、辞令交付式を行いました。山下さん、長年お疲れさまでした。



編集後記

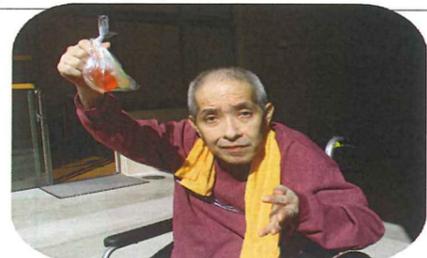
大洲幸楽園はおかげさまで今年も無事新年を迎えることが出来ました。

しかし世の中を見渡すと、元旦からの地震や、世界で続く戦争などがあり、複雑な気持ちとなってしまいます。こうした年明けを迎えると、ふだん当たり前に思っていたしまいがちな、穏やかな暮らしが、いかにありがたい事かと感じます。大洲幸楽園に入所される方々の中にも様々な事情で平穏な日常を失ってしまった人がおられます。私たち職員も、そうした事情を決して他人事とはとらえず、いつ自分もそうなるかもしれないと考え、相手の方の立場を思いやった支援を行なっていきたく、あらためて思う新年でした。





慎重に…落ち着いて…



やったぜ!

10月19日(木)大洲市障がい者スポーツの集いを実施しました。今回も感染対策を考え、各施設での実施となり、大洲幸楽園の中庭にて、行いました。お玉でボールを落とさず運ぶ「ゆつくり急いで」、バットでボールを転がす「ゴルフ競争」、さいころの出た目で走る距離が決まる「信号ゲーム」等工夫を凝らした競技に、利用者さんたちは、悪戦苦闘しながらも、笑顔で楽しんでいました。晴天にも恵まれ、スポーツの秋を皆で満喫することが出来ました。

大洲市スポーツの集い



11月1日大洲市の秋祭りに先立ち、久米幼稚園から、子供神輿が来てくれました。かわいい「わっしょい」の掛け声とともにおみこしを担いで来てもらい、素敵なダンスを披露してくれました。園児さんたちのダンスの後は振り付けを教えてもらい、幸楽園の利用者さんや職員も一緒に踊りました。かわいい園児たちと、楽しい踊りで皆笑顔になりました。

久米幼稚園こどもみこし



幸楽園駐車場奥の畑では、季節に応じたいろいろな野菜を育てています。11月にはサツマイモの収穫を行いました。今年は天候のせいかな作気味でしたが、それでも皆で収穫の喜びを味わいました。その後とれたお芋でスイートポテトを皆で作りました。

芋ほり



クリスマス会風景



よさこいの後の楽しいトークショー



素敵なヘアスタイルです。



とっても素敵なダンスでした。



いろんな国の人が来てくれました。

12月19日(火)クリスマス会を実施しました。今年は、ボランティアさんの朗読会に始まり、看護課・総務課による「よさこい踊り」・支援課による世界の人々に扮してみんなで踊る「世界のマツケンサンバ」と続きました。また、ここ数年感染症対策で、ビデオ対応となっていた、乳児保育所の園児さんたちによる歌と踊りが、久しぶりに、直接来て披露してもらえました。皆で楽しく歌って踊って楽しいクリスマスを過ごすことが出来ました。

クリスマス会



コロナの五類移行に伴い、各地で地域のお祭りが復活しています。大洲幸楽園では、10月22日に行なわれた久米ふるさと祭り、11月12日に行なわれた福祉と健康の集いに唐揚げと大洲コロッケのお店を出店しました。揚げたての唐揚げとコロッケは地域の方々には好評でした。

お祭り出店